

「経営発達支援計画（3期計画）」に係る 第3回事業評価委員会

当所では、小規模事業者の経営の改善発達を支援するため、小規模事業者支援法に基づき、令和3年3月に経済産業大臣より「経営発達支援計画（3期計画）」（実施期間…令和3年4月1日～令和8年3月31日）の認定を受け、事業に取り組んでいます。

このたびは事業評価委員会を開催し、「経営状況並びに経営課題アンケート」の集計結果と3期計画の3年目にあたる令和5年度事業の実施状況を説明し、評価いただきましたのでご報告します。

日時 令和6年6月4日(火)
10時～11時15分

場所 福山商工会議所第2応接室

出席者

(委員長) 福山大学 経済学部 教授 平田 宏二氏

(委員) おかもと 診断士事務所 代表 岡本 泰之氏

福山市経済環境局経済部 産業振興課 課長 富永雄一郎氏

(事務局) 福山商工会議所

専務理事 小林 仁志

事務局長 後藤 学

事務局次長(兼)

企画調整担当部長 岡本 輝夫

産業振興部長(兼)経営課長(兼)

松永支所長 後藤 裕正

経営課 課長補佐(兼)相談係長 三好 美彰

経営課 振興係長 門田 佳子



▲各事業の評価を行う平田委員長(中央)、岡本委員(右)、富永委員

内容

3期計画の内容に沿い、令和5年度の取り組み内容を項目ごとに目標と実績を対比させながら説明し、委員よりそれぞれ講評・意見をうかがい、AからDの4段階で評価いただいた。

評価…評価基準

- A…目標を上回った、または目標通りの成果があった。
- B…概ね目標を満たした。
- C…やや目標を下回った。
- D…目標の水準に達していない。

1. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査 (評価…B) (講評・意見) 景気観測調査、各種統計データ調査は概ね目標通り公表できている。景気観測調査の付帯調査として「価格転嫁」など時事問題に関連したテーマでの調査・公表を行った点は評価できる。

2. 経営状況の分析

- (評価…A) (講評・意見) 実績348件は目標150件を上回っている。経営分析に

3. 事業計画策定支援 (評価…A) (講評・意見) 実績253件は目標95件を大幅に上回っており評価できる。

4. 事業計画策定後の実施支援 (評価…A) (講評・意見) 実績279社610回(目標95社305回)、売上増加事業者数49社(目標30社)、経常利益増加事業者数47社(目標10社)といずれも目標を上回っており、十分なフォローアップが実施できている。

5. 需要動向調査 (評価…C) (講評・意見) 地域資源の需要動向については、商圏分析レポート「Miena」の活用がシステムの難しいのであれば、別の手法による分析を行うなど今後の検討が必要である。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業 (評価…B) (講評・意見) 会員ビジネス交流会、ふくやま駅前マルシェ等への出展を支援。商談件数や夢ぶらざへの出展数など一部未達はあるが、目標売上を上回っている事業者もあり、商工会議所の強みを生かした具体的で実践的な支援による成果があった点は評価できる。

II. 地域経済の活性化に資する取組

(事務局より報告) OPEN STREET T F U K U Y A M A、まちゼミ福山の浦 de A R T など、実行委員会および企業、大学他、関係機関と連携して地域の活性化につながる取り組みが実施できた。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

(事務局より報告) 独自に実施したDX推進支援に関する職員研修のほか日本商工会議所、県商工会議所連合会、中小企業大学校等の研修会、広島県、福山市の産業支援者会議への参加などにより、スキルの習得、支援のレベルアップに努めた。

総評 平田委員長より

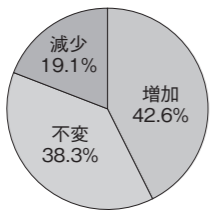
全体的に概ね良好と評価しました。評価委員会は、テーマ毎に、「目標」と「実績」について数値化されたものを評価した。予定の事業が、目標どおり達成していたものの、個々の企業ではどのような成果が得られたか検証することが大切である。目標達成に満足することなく、成果を求めて積極的に取り組んでいただきたい。

以上、委員の意見を踏まえ、3期計画の4年目にあたる令和6年度においても小規模事業者に対する事業計画策定支援など、現状に対してプラス意識を持ち、より効果的な伴走型支援に取り組んでいきます。

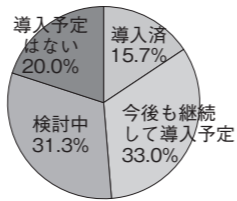
経営状況並びに経営課題アンケート調査結果

- 実施目的 当所が取り組む伴走型支援の成果を把握し、今後の活動に生かすことを目的に実施。
- 実施期間 令和6年3月22日(金)～4月30日(火)
- 実施方法 当所にて補助金申請、経営計画策定、マル経融資等支援を行った会員事業所を対象に、郵送により調査票を送付し、FAX・インターネットにて回答。
依頼事業所数 350社 回答事業者数 115社(回答率32.8%)

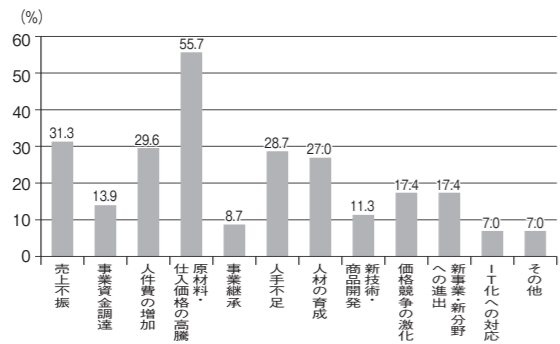
1. 令和5年度売上見通し(対前年比)
増加42.6%、不変38.3%、減少19.1%となり、増加が減少を23.5ポイント上回った。



2. 令和5年度経常利益の見通し(対前年比)
増加42.0%、不変32.1%、減少25.9%となり、増加が減少を16.1ポイント上回った。



3. 直面する経営上の課題(複数回答)
原材料・仕入価格の高騰55.7%が最も多く、次いで売上不振31.3%、人件費の増加29.6%、人手不足28.7%、人材の育成27.0%の順で回答が多かった。



4. 経営課題への対策(記述式:抜粋)
 - ・原材料・仕入価格の高騰(価格転嫁)…仕入れ先の見直し、経費・コスト削減、作業効率化など
 - ・人手不足、人材育成等…既存社員の昇給、業界経験のある幹部人材の採用、社員研修など
 - ・売上不振・IT化等…売れ筋商品の絞り込み、新分野の開拓、ロボットの導入、Webでの集客、SNSの活用など

5. 当所から今後一層の支援を望むもの(複数回答)
中小企業支援施策の情報提供や申請支援50.9%が最も多く、次いで販路開拓・マーケティング支援41.1%、経営安定・金融支援32.1%、人材確保・育成への支援27.7%の順で回答が多かった。

6. 業務におけるIT導入・デジタル化の推進状況
導入済15.7%、今後も継続して導入予定33.0%、検討中31.3%で導入予定はないが20.0%であった。

7. 「導入済」、「今後も継続して導入予定」、「検討中」と回答の該当する業務・サービス(複数回答)
会計ソフト46.7%が最も多く、次いで顧客管理ソフト40.0%、ECサイト構築35.6%、クラウド活用31.1%、セキュリティ強化28.9%、ペーパーレス化28.9%、キャッシュレス化26.7%、在庫管理ソフト25.6%の順で回答が多かった。

8. デジタル化推進で当所へ求める支援(記述式:抜粋)
情報提供、事例紹介、AI活用、デジタル化のサポートなど
9. 資金繰り状況
特に問題はない58.3%が最も多く、次いで、悪化している25.2%、良好12.2%の順で回答が多かった。

意見・要望(抜粋)

- ・国や自治体の補助金や助成金の情報提供と申請支援
- ・販路拡大のためのノウハウ
- ・相談できる環境があることを知らない人も多いため、もっと周知が必要